



Future Earthと 学校教育： 海の学びと人材育成

2019.6.2(日) 14:00~17:00
令和元年

東京大学大学院教育学研究科 357 講義室・358 講義室
参加費無料・先着順

科学と学校教育との協働の推進は、未来を担う若者の育成・成長に直結する喫緊の課題です。Future Earth では、四方を海で囲まれ世界第6位といわれる大きな管轄水域を持つ我が国の特徴に鑑み、海の学びと人材育成について、中学・高校生や大学生を含む広範な人々と議論するための公開ワークショップを開催します。

公開
ワークショップ

Open
Workshop

Future Earthと学校教育：海の学びと人材育成

Future Earthでは、科学と社会の協働によるCo-design、Co-productionの推進が強く求められており、なかでも科学と学校教育との協働の推進は、未来を担う若者の育成・成長に直結する喫緊の課題です。一方、学校教育の現場では、持続可能な社会を目指すESD(持続可能な開発のための教育)やSDGs(持続可能な開発目標)への取組が広がりつつあります。持続可能な発展のための教育と人材育成分科会は、そのような活動の推進について中学・高校生や大学生を含む広範な人々と共に議論するための日本学術会議学術フォーラムを2019年9月に開催することを予定しており、それを文字通り「科学と社会の協働」により企画(Co-design)する方針です。本ワークショップはその一環として開催するものであり、分科会委員と現場教員の報告をもとに、学校の教員・生徒を含む参加者全員で当該学術フォーラムの形態、扱うべきテーマと扱い方、科学と学校教育とのつながりの強化およびそれと関連する問題などについて考えるものです。具体的には、「Future Earthと学校教育：海の学びと人材育成」というテーマを掲げ、海と人との関係性や海の教材化について学び、海を通した人材育成について考えていきたいと思います。

- | | |
|-------------|---|
| 14:00-14:05 | ●開会挨拶
氷見山幸夫(日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授) |
| 14:05-14:20 | ●趣旨説明「海の学びの可能性と人材育成」
日置 光久(日本学術会議連携会員、東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任教授) |
| 14:20-14:35 | ●報告1「教室での実験で調べる海の仕組み」
丹羽 淑博(東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任准教授) |
| 14:35-14:50 | ●報告2「全国で行われている「海洋教育」の実態と課題」
川上 真哉(東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任研究員) |
| 14:50-15:05 | ●報告3「マイ・ウニ飼育から考える海の学び」
小川 博久(君津市立北子安小学校校長) |
| 15:05-15:20 | ●報告4「爆弾低気圧の発達条件 ―黒潮との関係―」
内記昭彦(東京都立戸山高専主任教諭)、飯田毅(2年生) |
| 15:20-15:30 | 休憩 |
| 15:30-16:55 | ●ディスカッション
司会：山形 俊男(日本学術会議連携会員、海洋研究開発機構特任上席研究員) |
| 16:55-17:00 | ●閉会挨拶
花木 啓祐(日本学術会議連携会員、東洋大学情報連携学部教授) |

東京大学大学院教育学研究科 357講義室・358講義室

東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線「本郷三丁目」駅下車徒歩7分
東京メトロ千代田線「湯島駅」下車徒歩約12分
東京メトロ南北線「東大前駅」下車徒歩約15分

[お問い合わせ]
川上 真哉(東京大学特任研究員)
kawakami@p.u-tokyo.ac.jp

